

日本経済の現状と課題

東京大学大学院教授
吉川 洋
よし かわ ひろし

- * アベノミクスの生んだ宿題
- * デフレーションをどう考えるか
- * デフレの鍵は賃金デフレ
- * 金融政策に対する誤解
- * 無理がある期待インフレ上昇説
- * 日本の格差問題とは何か
- * 財政赤字の原因は社会保障負担
- * 基礎的財政収支を巡る内閣府の算術
- * 人口減少時代にはイノベーションが重要
- * 企業こそイノベーションの推進力



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は東京大学の吉川洋先生に来ていただきました。東洋経済とはいろいろ縁がございましたが、どういうわけか経済倶楽部は初めてというところでございます。74年に東大を出られて、エール大学のほうで博士号を取得され、その後、小泉内閣のときの経済財政諮問会議の委員をされ、現在は財政審のほうに関係をしておられるということでございます。

経済の現状について、いろいろな方がここで話をされるわけですが、今日は客観的に現状をきちんと分析していただけたと思います。それから、皆さんご心配の財政問題についても、本質的なお話を今日は伺えると思います。（拍手）
それではよろしくお願いいたします。（拍手）

吉川 ご紹介にあずかりました吉川でございます。お手元に私の資料も用意していただいているかと思いますが、正面のパワーポイントも見ていただきながら私の話を聞いていただければと思います。2時10分ぐらいまで70分、私のほうで話をさせていただいて、その後10分ぐらい皆様方と質疑をするというやり方だと事務局のほうからいただいております。

本日のテーマは「日本経済の現状と課題」というタイトルですけれども、私は、過去3年ほどの日本経済の状況というのは、これから時がたつてからも大いに議論される、話題に満ちたものであったと思います。そのテーマというのは言うまでもなくアベノミクスということです。